

好評を得て成果を実感！

私は60歳まで近畿日本鉄道に勤務しておりました。44歳で都ホテルに出向しまして、その頃、中井専務理事とお会いしました。一昨年再会する機会がありました。

定年後は、時間の余裕が有りまして、地域のボランティア活動をしておりました。中井専務理事から関西演芸推進協議会の参加を勧め頂き、その中で「笑学ワークショップ」の活動を知りました。過去には、子供会活動やボーイスカウト活動に参加した経験がございまして、この度喜んで参加させて頂く事に成りました。

一昨年よりスタッフの一員として参加させて頂きまして、その活動内容を理解するに付けて、地元の羽曳野市にも来て貰えないかと、中井専務理事に相談させて頂きましたところ、ご了承頂き、早速、羽曳野市教育委員会に打診いたしました。その結果、快諾を得まして、昨年の2学期から右記の活動に至りました。学校側にも好評を得まして、思わぬ成果をあげる事が出来ました事に付きましては、中井専務理事はじめ、スタッフの皆様へ感謝する次第でございます。

関西演芸推進協議会及び笑学ワークショップの活動の今後益々のご発展を心よりお祈り申し上げ、私のお礼の言葉と致します。有難うございました。

～羽曳野市の小学校での「笑学」ワークショップ実施～
(会員の田中益男様よりのご報告です)

羽曳野市で実施した「笑学ワークショップ」

- 場所 羽曳野市立小学校 5校
- 時期 平成25年度 第二学期(9月～12月)

実施校	実施日時
古市立小学校	9月11日(水) 10:40～(45分)
西浦東小学校	10月15日(火) 10:40～(45分)
羽曳が丘小学校	10月30日(水) 13:35～(45分)
★高鷲北小学校	11月26日(水) 13:35～(45分)
丹比小学校	12月 3日(水) 13:35～(45分)

★高鷲北小学校では、羽曳野市の高崎教育長、中井専務理事に参観して頂きました。

好評開催中！ 笑学 漫才のワークショップでボケとツッコミ体感！ 子どもたちのコミュニケーション能力の向上を図ります。

いじめや学級崩壊など教育現場では様々な問題がありますが、その原因の一つに子どもたちのコミュニケーション能力の不足があると私たちは考えています。伝えたいことをきちんと伝えることができるなどコミュニケーションがしっかり取れば、いじめにつながりそうな出来事も未然に解決されるのではないのでしょうか。そこで、まさにデジタル世代の小学生に対して、関西の演芸文化の真骨頂である漫才からボケとツッコミを体感してもらい、相手の話を聞き、話の展開を読む力や互いの信頼関係を構築していくアナログのコミュニケーション力「笑学」を体験できるワークショップを企画いたしました。この企画は、松竹芸能株式会社のご協力のもと、私たち関西演芸推進協議会のプロデュースにより実施しております。現在30校限定で無償にてワークショップを実施しております。

- 平成25年「笑学ワークショップ」実施校
- 1/ 7 泉大津市立浜小学校
 - 2/14 大阪市立鶴見南小学校
 - 5/ 1 吹田市立豊津第二小学校
 - 9/11 羽曳野市立古市小学校
 - 1/24 大阪市立山之内小学校
 - 2/19 大阪市立森之宮小学校
 - 6/ 1 吹田市立山田第五小学校
 - 10/15 羽曳野市立西浦東小学校
 - 2/21 大阪市立敷津浦小学校
 - 6/12 大阪市立墨江小学校 いきいき活動
 - 10/30 羽曳野市立羽曳が丘小学校
 - 2/25 大阪市立泉尾北小学校
 - 6/19 大阪市立喜連西小学校
 - 11/26 羽曳野市立高鷲北小学校
 - 3/22 大阪市立加美小学校
 - 9/ 3 大阪市立明治小学校
 - 12/ 3 羽曳野市立丹比小学校

主催：特定非営利活動法人関西演芸推進協議会
協力：日本財団、松竹芸能(株)、相互タクシー(株)、(株)小学館集英社プロダクション、ガイドドリンコ(株)、(株)寺岡精工、東京海上日動火災保険(株)、千房(株)
対象：大阪府下の小学校 (30校限定で募集中※応募数多数の場合は抽選にて決定)



Report “笑都”大阪の復権をめざして～関西演芸推進協議会の取り組みを中心に～ 和歌山大学 観光学部 出口ゼミの皆さん

昨年9月に行われた「産学連携オープンセミナーin京都」で見事優秀賞を受賞されました

こんにちは、和歌山大学観光学部3回生の仁科樹です。研究室の先生や先輩方からご紹介をいただき昨年の春から協議会のお手伝いをさせて頂いております。多くの活動に参加させて頂いたのですが、そのような協議会の興味深い取り組みを広く紹介したいと考え、昨年の9月4日に開催された日本観光振興協会主催の産学連携オープンセミナーに参加しました。当日は関西圏の大学生が集まり、観光振興に関する研究発表が行われました。私たちは協議会の活動を中心とした大阪の演芸についての発表をさせて頂いたのですが、多くの興味深い発表が行われたその中で、優秀賞を獲得することができました。このような結果を得られたことも協議会のみならず温かいご指導のおかげです。研究室を代表して心よりお礼申し上げます。今後も協議会の活動に積極的に参加し後輩に引き継ぎを行っていきたく考えておりますのでどうぞよろしくお願い申し上げます。



関西の上質な演芸文化のために…

上方演芸の文化に触れ、共に育む活動と一緒にしませんか…
関西演芸推進協議会では、関西の演芸を盛り上げ、若手芸人の活躍を支援し、演芸の伝統を守り次世代へと継承していくために様々な活動をしていきたいと思っています。

公式ウェブサイトもご覧ください。 <http://www.walive.org>

関西演芸推進協議会は文化庁の関西元文化圏事業に参加しています。



編集後記 寒い季節、温かい鍋料理やお出汁の効いたおでんなどが美味しいですね。様々な地方の方と交流し色々とお話する機会が増えたのですが、先日、関西出身で関西在住の私に「いい出汁が効いてる、さすが大阪だね」と言う地方の方。大阪ではさほど会話など面白い方ではないと思うのですが、これも協議会のおかげでしょうか？ちょっとだけ嬉しかったりした一幕でした。(編集部・廣田)



笑ライブ 第18号

walive

「笑ライブ」とは… 「笑」、「商」、SHOW(見せる)=LIVEという意味と、「WA」の意味する平和の「和」、みんなて手を繋ぐ「輪」の思いから名称にしました。

2014年2月

【発行】
NPO法人関西演芸推進協議会 編集部
〈事務局〉
大阪市浪速区難波中1-10-4
千房株式会社内
TEL.06-6633-1430
FAX.06-6633-1435
<http://www.walive.org>
info@walive.org

INFOMATION

会員の皆様には、いつも当協議会へのご理解、ご協力をいただきありがとうございます。
昨年の発行から、ずいぶん月日が経ちましたが、昨年は「第2回関西演芸しゃべくり話芸大賞」を開催させて頂く事ができ、1回目とはまた違う手応えを感じる事が出来ました。また、小学校でのコミュニケーション講座「笑学」もたくさんの方にご協力いただき、メディアの力もお借りしながら、活動も認知されつつあります。
これからも「芸人を育て、よりよき鑑賞者を育てる」という趣旨のもと、継続して活動を推進してまいります。相変わらず、皆様のご指導、ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い致します。

CONTENTS

- ☆第2回関西しゃべくり話芸大賞 優勝決定戦……………1頁
- ☆第2回関西しゃべくり話芸大賞(予選)……………2頁
- ☆「人生を変える大舞台」……………2頁
- ☆報告(総会・ビアパーティー・講演会)……………3頁
- ☆会員ご紹介 田中益男様
☆和歌山大学プレゼンテーションご報告
☆「笑学」のご案内 他……………4頁

第2回関西演芸しゃべくり話芸大賞 優勝決定戦

2013年10月19日(土)
於大丸心齋橋劇場
14:00～17:00

「関西のしゃべくり王はどの組に？ 決戦大会で繰り広げられた10組のバトル」

～『話芸とは、会話のおもしろさと言葉のおもしろさを磨き、芸にしたもの』を審査基準にグランプリを選手～

予選129組のエントリーの中から勝ち抜いた10組の出場で第2回目となった今回の「関西演芸しゃべくり話芸大賞優勝決定戦」は大丸心齋橋劇場で開催されました。第1回でグランプリを受賞したボルトボルズをはじめ、前回出場した組には新しい展開を期待し、また、今回初めてのエントリーでありながら、シュールな笑いで新しい空気を醸し出した芸に新鮮さを感じたり…と。それぞれのチャレンジを見守るようお客様と審査員が観戦しました。舞台袖で固くなる組や、制限時間を超えてしまったりする組など、それぞれに緊張度は高かったようです。結果は、昨年の準グランプリ「アルミカン」が見事グランプリを獲得！カワイイ芸の高橋さんと恐ろしい表情でつつこむ赤阪さんの二人の掛け合いですが、審査委員長の澤田隆治先生の総評では、自称見た目の悪い役の赤阪さんに「あんた、かわいい顔してるんだから、そのまま芸をしない、あんな恐ろしい顔しないで…」と。確かにかわいい顔してはるんですね。グランプリ受賞とは言え、またここからのスタートですね。ご活躍を楽しみにしています。また、昨年のグランプリ「ボルトボルズ」も安定感のある笑いとネタで楽しませてくれました。が、意外にも時間切れのハプニング。澤田先生には、「いらんネタで回り道せんでいい！」と、時間配分などのご指摘も。また、もう一組の準グランプリには「レモンスカッシュ」が受賞。軽快でリズムカルな掛け合いが好印象な漫才でした。10組の決戦結果を待つ間、ゲスト2組による歌と浪曲を鑑賞し、第2回開催ということで、スタッフも昨年の経験から、少し手際もよくなったのでは？と予選準備から始まった長い1年を振り返り、次回の大会にまた新しいスタート地点につくのでした…。



決戦の後には、審査委員長の澤田隆治先生から厳しく細やかな総評を受けました。各企業様より本大会に協賛いただきました。懸賞券としてご紹介。



11/23 (17:30～18:00)
特番 ラジオ大阪で
第2回関西演芸しゃべくり話芸大賞
として放送されました

審査結果を待つ間、お客様はPaix2(上)の歌を鑑賞。春野恵子さんは浪曲を披露してくださいました。

Report

第2回 関西演芸しゃべくり話芸大賞 予選

2013年
9月21日(土)・22日(日)
於ZAZA道頓堀

第2回も129組のエントリーで様々なしゃべくりスタイルが披露されました。

第2回となった関西演芸しゃべくり話芸大賞。初回で要領を得なかったスタッフも2回目とあって、打ち合わせから準備まで、最善策をと早くから取り組むと共に、とは言え、不安材料もいっぱいある中での進行となりました。審査の方も129組の出場だけに、記録を追いながら、印象的なシーンを振り返ったりした上で、様々な意見が飛び交ったようです。「プロ・アマ問わず…」という触れ込みにより、半分ぐらいのアマチュア参加で、プロには見られない天然素材もちらほらと…。実力派の落選や前回のリベンジで力が入りすぎた出場者も見受けられたりと、悔しい思いをされた方もいたように思います。記録用に残された動画や写真画像を見て振り返ると、意外な発見もあります。例えば、写真では画像として納まりのいい芸人さんや声のトーン・インパクトの強い芸人さんがランクインしているということです。笑いを伝えるということもそうですが、人の心をつかむポイントとは…という基本軸も大切なんだなぁと素人ながら感じた第2回の予選大会でした。



～今回もプロ・アマ様々なしゃべくり話芸が参戦! 次回もご参加お待ちしております!!～



面田さんの司会にも笑いかけます! 結構好きでした…また聞きたいなぁ 去年も出場ありがとうございました! 会員でベテラン腹話術師ヨッシーさん よっ兄弟! 来年もよろしくです!!

寄稿

「人生を変える大舞台」

大谷邦郎(サラリーマン兼講談作家)

大袈裟ではなく、芸人には人生を変える舞台と言うのがあ。例えばサンドウィッチマンにとっての2007年のM-1、またバイきんぐにとっては2012年のキングオブコントがそうだ。これらの舞台はそれまでほぼ無名だった彼らを一挙に人気者に変えた。まさに人生を変えた舞台だ。我々はそれを、テレビを通して目撃した。しかし貴方はそれに気付いたか? 我々の身近な舞台でもその変化が起こったことを。それは去年の10月のこと。そう、その舞台とは第2回関西演芸しゃべくり話芸大賞だ。優勝は予想通りアルミカンの二人。「性格の悪い」高橋と「顔の悪い」赤阪(実は素顔はとても可愛いだけ)と、二人のキャラクター付けが成功し、ここ最近人気もうなぎ上り。今回の優勝もまず順当と言える。すなわち彼女たちにとっては、先日の舞台は人生を変えるほどではなかった。では誰の人生が変わったのか? それは、オレ・ラ・センサーだ。彼らのネタ「実録版桃太郎」は実に面白かった。童話の桃太郎が、いつの間にか太平洋戦争のドキュメンタリー番組にすりかわっていく。確かに桃太郎の鬼退治も太平洋戦争も「戦」には変わりはない。笑いの中にも「戦争の愚かしさ」が伝わってきた。けれど結果は準優勝の2組にも入ることが出来なかった。若い人にはウケないからだ。しかし僕は思った。大人にはウケると。そこで彼らの連絡先を探し出し、今一度同じ漫才を僕の友人たちの前で披露してもらった。案の定ウケにウケた。やはり面白い。コンビの一人・山崎仕事人はこう言った。

「あの舞台以降、仕事が増えた。芸歴は10年を超すが、その10年分の芸人としての収入をこの数か月の収入が上回った」と。
それは凄い! 彼らにとって本当に人生を変えた舞台だったのだ。
ところで、その10年分の芸人としての総収入とは、さて、いくらだったのか?
彼は続けた。
「え〜っと、総額で…1万円くらいです」
しばし絶句。
彼らの今後の活躍を、心の底から願うのであった。



オレ・ラ・センサー

Report

「定期総会」

●第1部: 総会
●第2部: 記念講演「演芸で街は輝き」講師: 中井専務理事
ゲスト: 伝三 F氏(パントマイム)

2013年6月18日(日)
於)スイスホテル南海大阪
18:30~20:30

また1年、そして次の1年…新しいご縁とご協力で広がる輪

総会に先駆けて理事会を5月22日に17名の出席で開催。1年の事業報告にはじまり、新年度の事業計画案を会員の皆様にご承認いただく年度行事も今回で第6回となりました。新しい会員さんとの交流の機会となる大きな行事ということもあり、わざわざ遠方からご来場くださる方や、お忙しい中、合間をぬって駆けつけてくださる方など、皆様の温かいご支援のおかげで協議会が成り立っている事を実感いたします。通年行事も「笑学」や「しゃべくり話芸大賞」が加わり、協議会の趣旨・概念が明確に進みだしてきたという実感を得る事ができ、皆様のご理解、ご協力の賜物と感謝する次第です。



顧問 安倍彰さん 平松邦夫さん(元大阪市長) 副会長 駒村 純一さん



たくさんの方にご参加いただきありがとうございました。皆様とのご縁を大切に協議会を運営してまいります。

Report

「夏季例会(ビアパーティー)」

2013年7月30日(日)
於)ニューミュンヘン難波店
19:00~20:30

協議会の夏の風物詩、納涼会こと「ビア・パーティー」が今年も盛況に開催されました。昨年のしゃべくり話芸大会でグランプリを受賞したポルトボルの漫才に加え、参加者の中から、「大人の笑学ワークショップ体験」として、ポルトボルの即興漫才をしてみようなど(何と、歌手の金井克子さんが漫才を…!!) その場限りのお楽しみもありの納涼会。何と言ってもニューミュンヘンのビールに唐揚げが場の空気を更に盛り上げた事は間違いなし! また、和歌山大学の学生によるゴスペルなども会に若さ(!)を加味し、ビールの泡と共にフレッシュさが中高年の五感を刺激します(^ ^) 暑い季節ならではの爽やかな交流は毎年好評ですから、今から次回がまた待ち遠しい企画です。まだ参加されたことのない方は、ぜひ次回はご参加ください。お待ちしております。



小野会長のご挨拶も夏バージョンでした! 福岡治師匠。ご挨拶もユニークです。 金井克子さんとポルトボルの漫才も! 笑って! 飲んで! 楽しい時を共有させていただきました。

Report

講演会「なにわ大阪興亡記-だから元気をださない-」

講師 堀井良殷先生(関西・大阪21世紀協会 理事長・心学明誠舎 理事長) 協賛 梅田MAG(阪神電気鉄道(株))

2013年12月3日(日)
於)ハービスPLAZA
18:30~21:00

関西の文化の牽引役、仕掛人としてご活躍の「関西・大阪21世紀協会」理事長の堀井良殷先生によるご講演が昨年12月3日、ハービスPLAZAにて開催されました。「大阪の今は大阪の歴史にあり」とのことですが、「大阪の元気」を取り戻すために、歴史を振り返りひもとく必要があるとのこと。高いが栄えたのは何故なのか。東京との違いは何なのか? など興味深く拝聴させていただきました。また、堀井先生のご講演の後には、テーブルごとにディスカッションを行い、先生に質問。商売のことから、孫世代の悩みの質問まで…受講された方、それぞれに抱える「大阪の元気復興」への問いにお答えいただきました。



和歌山大学 出口ゼミ生によるプレゼン披露 熱心に質問される受講者の方 堀井良殷先生